



関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港 日本初！3空港で空港カーボン認証レベル4を取得しました！

関西エアポートグループは、2021年11月3日に、関西国際空港、大阪国際空港及び神戸空港の3空港が空港カーボン認証※プログラムのレベル4（Transformation）を取得しましたことをお知らせします。レベル4の取得は国内の空港としては初で、この度グループが運営する3空港が同時に認証取得しました。

関西エアポートグループにおきましては、2016年度のコンセッション開始以来、日本で初めて関西国際空港、大阪国際空港で空港カーボン認証に参加し、2018年からは新たに神戸空港も参加するなど、環境マネジメントに取り組んできました。また、2018年4月に策定された新環境計画“One エコエアポート計画”に定める4つの方針「気候変動への対応」「資源循環」「周辺環境との共生」「環境マネジメント」のもとに、グループ内においても省エネ空調システムを始め環境への様々な取組みを奨励することで従業員の環境への意識向上を図るなど、環境への負荷低減にむけた様々な活動を行っています。

今回の認証取得にあたっては、温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロとする長期目標を、「関西エアポート環境宣言」として公約し、加えて、空港関連事業者で構成される「エアポート環境推進協議会」で確認された、日本政府の掲げる温室効果ガス削減の中長期目標の実現に向けて取り組んでいくという方針が評価されたものです。この方針にそって引続き事業者の皆さまと温室効果ガスの排出量削減に取り組む、さらに、環境に配慮した事業者が空港事業に参画いただける枠組みについても検討してまいります。

関西エアポートグループは、引き続き、空港関連事業者と連携するとともに、グループ全体での環境活動を着実に推進することで、地域社会と調和した環境に優しい空港をめざしてまいります。

※空港カーボン認証とは

空港カーボン認証（ACA：Airport Carbon Accreditation）は、2009年に空港会社の国際機関である国際空港評議会（ACI：Airports Council International）によって作られたプログラムであり、認証空港は全世界へ広がり、2021年9月末時点で353空港にのぼります。

空港向けの国際カーボン管理基準としては唯一のものであり、各レベルの概要は以下のとおりです。



○One エコエアポート計画：

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/oneecoairport.html>

○関西エアポート環境宣言

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/file/statement.pdf>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12か国において45空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構